

告知：「陸水学雑誌」の電子アーカイブ化に伴う著作権の取り扱いについて

「陸水学雑誌」創刊号から 45 巻 4 号までの著者、共著者および関係各位

日本陸水学会会長 岩熊敏夫
2008 年 6 月 8 日

日本陸水学会では、学会誌の電子公開は陸水学の進歩、普及ならびに応用を図る上で有効な手段であると考えています。英文誌「Limnology」は既に出版元のシュプリンガー社が運営する SpringerLink を通じて電子公開が実施されており、和文誌「陸水学雑誌」の電子公開を進めて行くことが 2007 年度の総会で了承されました。この了承を受けて、(独)科学技術振興機構の J-STAGE¹⁾上にて「陸水学雑誌」第 67 巻(2007 年)掲載論文の電子公開が 2008 年 4 月より始まり、第 68 巻(2008 年)以降に掲載された論文も紙媒体での公表から一年を経て順次電子公開される運びとなりました。

上記の(独)科学技術振興機構では、国内の重要な学術雑誌について創刊号からの電子化をおこない web 上での公開を推進する電子アーカイブ事業²⁾も行っています。今年度より、本会はこの電子アーカイブ事業への申請を行い「陸水学雑誌」創刊号からの電子公開に取り組みます。

この創刊号からの電子公開を進めるにあたり、本会に掲載された論文(原著、総説、短報、資料等を含む)著者から著作権の権利譲渡を受ける必要があります。第 46 巻(1985 年)より著作権は陸水学会に帰属することが明記されています。しかし、創刊号(1931 年)から第 45 巻(1984 年)までに掲載された論文については、国内学会誌でそのような慣行がまだ明確化されていなかったため、論文の著作権譲渡について明確な記述がない状況でした。そのため、創刊号(1931 年)から第 45 巻(1984 年)までに論文を掲載された著者の皆様には、電子公開の目的と意義をご理解いただき、著作権の譲渡をお願いする次第です。

掲載論文の著作権の譲渡を承認頂けない著作権者、または相続権をお持ちの遺族の方は、2008 年(平成 20 年)12 月 31 日までに、その旨を日本陸水学会事務局までご連絡下さい。お申し出のなかった論文等につきましては、ご承認頂けたものとして電子アーカイブ化の作業を進めさせていただきます。なお、期限後に申し出があった場合においても当該論文を公開停止すると共に、改めて詳しく説明する所存です。

今回の著作権譲渡の願いは「陸水学雑誌」の電子公開が目的であり、これまで著者の皆様が有していた権利としての研究活動のための論文の個人的利用等についてはこれまでと同様です。皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

¹⁾J-STAGE (Japan Science and Technology Information Aggregator, Electronic) : 独立行政法人科学技術振興機構が運営する学術情報公開サイトです。国内外の幅広い読者への科学技術情報を発信することを目的として、多くの学協会が発行する学術論文を電子化しそれらの論文を Web 上に公開しています。日本陸水学会の第 58 回大会(1993 年)以降の講演要旨抄録、第 67 回大会(2002 年)以降の講演要旨集全文も既にこの J-STAGE を利用して公開されています。

²⁾電子アーカイブ事業: 国内学協会の学術雑誌の国際発信力の強化と重要な知的資産の保存等を目的とし、特に重要な学術雑誌について過去の紙媒体の論文に遡って創刊号から電子化(電子アーカイブ)し、独立行政法人科学技術振興機構で運用するアーカイブサイト Journal@rchive (ジャーナルアーカイブ)にて全文公開してゆく事業です。

本件の問い合わせ先:

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-5-15 新大阪セントラルタワー8F

(株)コネット内 日本陸水学会 会員管理係

TEL:06-4806-5656 FAX:06-4806-5658 E-mail:jsl@conet-cap.jp